

五ヶ瀬川水系北川

Gokasegawasuikei KITAGAWA



After

災害後も、自然が残る。

平成9年の台風通過に伴う出水(※1)により、観測史上最高の水位を記録し、2箇所が破堤、1984戸が床上浸水する大災害が発生しました。事業実施にあたっては、うるおいのある水辺空間、水辺の生き物の生息環境を生みつつ、風土や文化を活かした川づくりを実施しました。川が本来有していた砂州、河原、河畔林、干潟、ワンド等については、改修後も保全されています。現在においても、多種多様な生物が生育する宮崎県でも有数の川となっています。

※1 大雨などにより川の水量が増大すること。



N32度36分51秒 E131度41分21秒
(32.614,131.689)